

「八坂神社散策」

17



問合せ
北川辺教育事務所
(☎0280・62・1710)



所在地 麦倉2551

鈴木弘覚翁碑（市指定有形文化財昭和55年3月5日指定）および伊勢太廟参拝之碑（市指定有形文化財同57年12月7日指定）いずれも、埼玉大橋の近く、八坂神社の境内にあります。

鈴木弘覚は三重県菰野出身、頼山陽や広瀬淡窓に学び、勤皇の志士と交わるなどしましたが、縁あってこの地、旧北川辺町に来て、道場を開き青少年に手習いを教授し、教化に努めました。特に、養蚕を奨励したり、優良な種子を配布して農事改良に一生を尽くした人物です。

翁の没後、村民はその遺徳を敬慕し記念碑を建てました。書は明治の書家、渡辺沙鷗です。

沙鷗の書跡、「伊勢太廟参拝之碑」も同境内にあります。沙鷗の書跡が碑文に刻まれている例は大変珍しいようで、なぜ尾張（愛知県）の書家、沙鷗の書跡が北川辺にあるのでしょうか。

弘覚翁碑の裏面を見ると、その謎が解けます。

「万代ののちの世までもまもりませとしまのさとの年のみのりを」これは弘覚翁の娘にあたる小舟という人の歌で、彼女は明治天皇の皇后（昭憲皇太后）の和歌所に奉仕するほどの和歌の達人でしたが、彼女の「書」の先生が沙鷗であったという縁によるものです。



▶ 鈴木弘覚翁碑



◀ 伊勢太廟参拝之碑

紹介者 渡辺 章さん（向古河）